



中間登校日 1年生

1年生の中間登校日は、23日（木）・24日（金）の2日間に渡り午後から設けられた。まずは、登校した順に自転車点検を受けて、校舎内に入り図書館で本を借りました。その後、自転車に乗るときの約束事を確認したり課題を確認したりして、新たな課題を受け取り下校しました。「勉強をがんばり、テストでいい点を取りたい。」と話す渡邊悠人くんは「家では勉強、ゲーム、読書の繰り返しです。今日は、久しぶりにみんなとあえてホッとしました。」と話してくれました。鈴木稀月さんは「家ではゲームばかりしていて怒られています。でも、課題はちゃんとやっています。」と話してくれました。「毎日が退屈。」と話す加藤美桜さんは、「テストで50番以内に入ること、陸上部に入ってタイムを縮めたい。」と今年の目標を話していました。また、「毎日が土曜日・日曜日のような。」と話す野口颯大くんは、話題の「eライブラリ」を有効に活用しているそうです。「算数が苦手ですが、解説もあり、まちがったところを自学でやっています。少しずつできるようになってきたので、このまま苦手意識をなくせるといいな。」と話していました。



歴史は繰り返す

4月 本の貸出冊数



27日（月）、神町中学校図書館より、「4月・神中生・本の貸出冊数」が発表された。発表によると、昨年度の4月は1人平均3.2冊であったが、今年度は5.1冊と大幅に本の貸出冊数が増えていることがわかった。「臨時休校により自由な時間が増えた分、読書の時間も増えたのではないか。」と夢色通信社では分析している。ム・ネッティ社長は、新型コロナウイルスにちなんで、「復活の日」

（小松左京 著）、「ペスト」（アルベール・カミュ 著）、「首都感染」（高嶋哲夫 著）の3冊を読破したそうである。『本に書かれていることが、現実として起こっていることに驚いた。本の中の知識や経験が生かされないから、「歴史は繰り返す」と言われるのだと思った。神中の図書館にもあるので、ぜひ読んでもらいたい。（ただし、「ペスト」はかなり難しいですよ）」との談話を発表した。1学期の多読賞は25冊です。今がチャンス。たくさん本を読み多読賞をゲットしよう。そして、年間読書冊数70冊をクリアしよう！